

令和2年度 作物栽培管理情報第1号

令和2年4月発行
大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

1. 農業情報メール登録募集

- ・大分県中部振興局から、お手持ちのスマートフォン・携帯電話機等に病虫害の発生、気象災害等の速報が届きます。
 - ・配信を希望される方は、大分県中部振興局アドレスまでお申込ください。
- ※お知らせ頂きました個人情報、農業情報メール配信以外には使用しません。

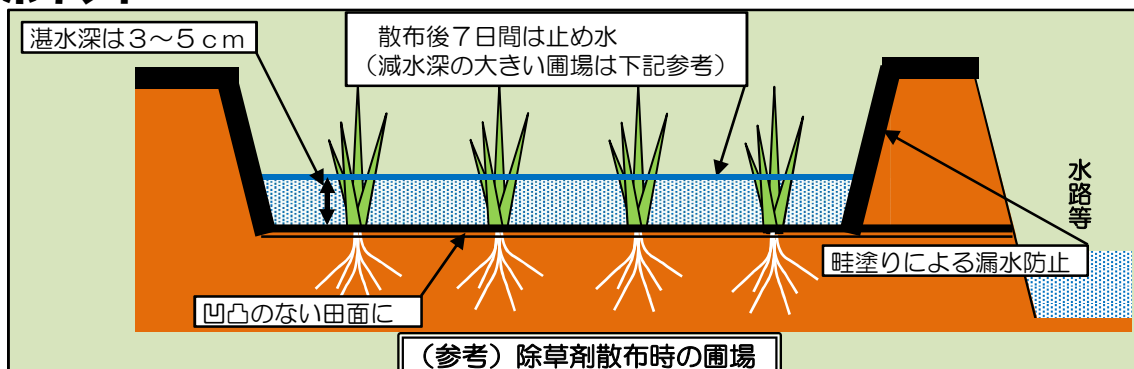
1. 配信受付アドレス a11604@pref.oita.lg.jp
2. お知らせ頂く内容
 - 1) 登録者のお名前
 - 2) 郵便番号
 - 3) 御住所
 - 4) 御職業（生産者・認定農業者・法人・中山間・市・JA・NOSA I等）

2. 令和2年産水稻 田植～活着期までの管理作業

1) 田植時の病虫害防除 ～本田防除までの対策を忘れずに！～

- ・箱苗または田植同時防除により、病虫害の発生を予防しましょう。

2) 除草剤の散布 ～水管理の徹底・凹凸のない田面・漏水の防止で効果増大～ ポイント



- ・散布前に、使用上の注意の「対象草種・散布時期」を必ず確認してください。
 - ・田面が水面から出ている部分では、除草剤処理層が出来ず雑草が発生します。凹凸が生じないように、田植前の代かきを丁寧に行いましょう。
 - ・減水深の大きい圃場では、除草剤を流さないよう静かに水を補充してください。
- ※田植後の補植は踏込により除草剤処理層を壊し、雑草多発を招くため避けましょう。

3) 田植後の水管理 ～ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)のいる圃場は注意！～ ポイント

1. 田植後～活着期は深めに湛水
2. 活着後～中干し期は間断灌水
(間断灌水＝浅めに湛水し自然落水により田面が見え始めたら再び浅めに湛水)
3. ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の生息する圃場では、田植後2～3週間水深1 cm程度の浅水管理 ※田面が乾かないよう注意しましょう！

